

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



文京区

## 才能豊かな鷗外の業績を辿る

文京区立森鷗外記念館は、2012年11月に森鷗外の生誕150年を記念して開館しました。同館は、鷗外が1892年から亡くなる1922年まで過ごした旧居「観潮楼」の跡地にあり、敷地内には観潮楼の旧正門跡の礎石や庭石、大イチョウなどが残されています。鷗外は、小説家、戯曲家、評論家、翻訳家、陸軍軍医といくつもの顔もち、多くの業績を残しています。同館では、約9千点に及ぶ鷗外や家族の遺品資料と、鷗外の著作や鷗外についての研究書、同時代文学に関する図書など約1万6千冊の図書を収集しており、展示を通して鷗外の業績を伝えています。

## 鷗外のさまざまな「顔」を紹介

1階には、ミュージアムショップとカフェ、2階には図書室と講座室を設けています。地下1階展示室の常設コーナーでは、写真や自筆原稿、遺品などの展示により、幼少期から晩年までの生涯を辿り、鷗外のさまざまな「顔」と偉大な功績にふれることができます。年2回ずつ開催する「特別展」と「コレクション展」では、鷗外の多彩な活躍や同時代の文人との交流など、知られざる鷗外の魅力を紹介しています。映像コーナーでは、さまざまな切り口で鷗外に触れる4本のプログラムを上映しています。鷗外の作品は、難解なイメージで一般の方に馴染みが薄いことから、同館では鷗外のプライベートなエピソードや趣味を紹介するなど、作品以外の側面から関心を持ってもらう工夫もしています。

## 文学と人と街とが交流する場に

館内には、オリジナルグッズを販売するショップやカフェも併設しています。鷗外ゆかりの庭園を眺めることができる「モリキネカフェ」では、鷗外が留学していたドイツにちなんだメニューや、展覧会ごとにオリジナルスイーツなどを提供しています。同館は、街歩きエリアとして人気がある「谷根干」と呼ばれる地域にあることから、散策スポットとして、まずはカフェや庭歩きなどを目的に気軽に訪れてほしいと話しており、少しずつ親しんでもらうことを目指しています。

## 明治の文豪・森鷗外を知る

# 「文京区立森鷗外記念館」

明治の文豪として知られる森鷗外が、その半生を過ごした文京区千駄木の地に建つ「森鷗外記念館」。明治・大正を代表する知識人としての森鷗外の、文学や医学にとどまらない業績と人となりを知ることができる施設です。



▲凛とした特徴的な建物



▲礎石と敷石が残る旧正門跡



▲観覧者を迎える鷗外の胸像



▲鷗外の生涯をたどる常設展示



▲所蔵資料が閲覧できる図書室



▲窓から庭園が見えるカフェ

## 文京区立森鷗外記念館では、年2回ずつ「特別展」と「コレクション展」を開催しています。

### ●コレクション展

「鷗外の妹・喜美子の家族—森家と小金井家—」

鷗外の妹・喜美子を中心とした森家と小金井家(婚家)の親交の様子を、喜美子の著作や鷗外ら家族の日記や書簡などの館蔵資料により紹介します。

開催期間:2025年1月18日～2025年4月6日

## 文京区立森鷗外記念館

所在地 文京区千駄木1-23-4

開館時間 10:00～18:00(最終入館は17:30)

休館日 第4月・火曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

入館料 通常展/一般300円、中学生以下無料

特別展は展示により料金が異なる(中学生以下無料)

アクセス 東京メトロ千代田線千駄木駅より徒歩5分

お問合わせ 03-3824-5511

